

【地域のニーズに応える幼稚園】

◇ 幼稚園教育要領(平成20年3月)

第1章 総則

第3 教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動など

幼稚園は、地域の実態や保護者の要請により教育課程に係る教育時間の終了後等に希望する者を対象に行う教育活動について、学校教育法第22条及び第23条並びにこの章の第1に示す幼稚園教育の基本を踏まえ実施すること。また、幼稚園の目的の達成に資するため、幼児の生活全体が豊かなものとなるよう家庭や地域における幼児期の教育の支援に努めること。

第3章 指導計画及び教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項

第2 教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項

- 1 地域の実態や保護者の要請により、教育課程に係る教育時間の終了後等に希望する者を対象に行う教育活動については、幼児の心身の負担に配慮すること。また、以下の点にも留意すること。(略)
- 2 幼稚園の運営に当たっては、子育ての支援のために保護者や地域の人々に機能や施設を開放して、園内体制の整備や関係機関との連携及び協力に配慮しつつ、幼児期の教育に関する相談に応じたり、情報を提供したり、幼児と保護者との登園を受け入れたり、保護者同士の交流の機会を提供したりするなど、地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を果たすよう努めること。

1 幼稚園を親と子の育ちの場ととらえる

(1) 保護者の子育ての不安

今、幼稚園に求められている連携の一つに、しつけの問題など保護者の子育て相談に応じることが挙げられている。

教師と保護者は、幼児の生活や行動に対する共通の理解をもった上で、幼児の道徳性の芽生えや、社会性の発達のためにどうしたらよいのかを話し合い、相互の理解を深め合う必要がある。

子育てに不安をもったり自信をもてなかったりする親に対して、子育ての具体的悩みに応え、子育ての楽しさを伝えていくことが子育て支援である。

(2) 教師は保護者と幼児の成長に寄り添って

教師は、各家庭で培われた道徳性の芽生えを、幼稚園という集団生活の中でよりよいものとなるように援助し、支えていく。そのためには、保護者と同じ目線で幼児の生活を共に考える必要がある。

保護者の様々な訴えに耳を傾け、保護者に幼児の姿を通して真心をもって話すことである。

教師は、幼児の発達への深い理解とともに、教師自身の生き方や子育て全般など、多様で広い視野をもつことが必要となる。

2 幼稚園を子育てを啓発する場として活用してもらう

幼児一人一人の家庭での生活を踏まえて幼稚園生活をつくり出すとともに、幼稚園生活の充実が家庭教育の充実につながるように、幼稚園が子育てに関する適切な情報を提供し、幼児教育の専門施設としての情報発信の役割を果たすことが重要である。

幼稚園が提供する情報によって、保護者自身が自分の子育てを振り返る機会や、子どもの成長を楽しみに感じられる機会となるように、情報の提供の仕方を工夫する必要がある。

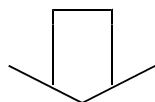
子育てに関する適切な情報を、広く地域の人々にも提供し、幼稚園が「地域全体の人々が子育てについて共に学び合える場」になることが期待されている。

3 子育て支援の観点からの幼稚園の役割と取組

これからの幼稚園は、地域の幼児教育センターとしての子育て支援を推進することが求められている。

- (1) 地域の子どもの成長、発達を促進する場としての役割
- (2) 遊び場の保障と遊びを伝え、広げる場としての役割
- (3) 子育ての喜びを共感する場としての役割
- (4) 子育て本来の在り方を啓発する場としての役割
- (5) 子育ての悩みや経験を交流する場としての役割
- (6) 地域の子育てのネットワークづくりをする場としての役割

- 地域の人に幼稚園の施設や機能を開放する。
 - ・ 公開保育・保育参観（保護者・祖父母・地域住民）
 - ・ 幼児教育相談・子育て相談
 - カウンセリングマインドに基づく保育
 - 専門のカウンセラーによる親子カウンセリング
 - ・ 子育てサークル（親子の触れ合い）等の交流活動
 - ・ 子育て公開講座の開設
 - ・ 子育て井戸端会議の開催
 - ・ 子育てネットワークづくり
 - 子育て便りなどの情報提供
 - ・ 未就園児の育成活動
 - ・ 高齢者との交流活動
- 預かり保育
 - ・ 適切な指導体制
 - ・ 幼稚園教育要領の準拠
 - ・ 教育課程に基づく活動との関連
 - ・ 幼児の心身の負担への配慮
 - ・ 家庭との緊密な連携（家庭での過ごし方への働きかけも）



子育て支援活動をより効果的にするために

- ・ 地域の他の幼稚園や保育所，小学校との連携
- ・ 児童相談所など教育・児童福祉関係機関との緊密な連携
幼児虐待等の通告義務
- ・ 教師の子育て相談に関する研修の充実

幼稚園教育の役割

幼児期における教育は、生涯にわたる人間形成にの基礎を培う。

- 幼児が遊びの中で主体性を発揮し、生きる力の基礎を培う。
- 幼稚園と家庭が連携し、一人一人の育ちを促す。
- 家庭では体験できない新たな世界と出会い、幼児の自立に向けた基盤を育成する。